

高脂血症治療薬と ADL の関連についての研究

1. 研究の対象

2014年4月1日～2019年3月31日に当院の循環器科と呼吸器内科に入院された方

2. 研究目的・方法

骨格筋の障害を来す可能性のあるお薬として高脂血症治療薬のスタチン製剤があります。骨格筋への副作用の報告例は非常に少ないですが、リハビリテーションの効果にも影響を与えるかについては明らかではありません。そこで、高脂血症治療薬スタチン製剤が処方された方の入院中の日常生活自立度からお薬の影響がなかったかどうか調べることを目的としています。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢と性別の情報、入院期間、血液検査のクレアチンキナーゼの値、スタチン製剤の処方の有無、その他の薬剤の処方内容、リハビリテーションの実施回数等。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

磐田市立総合病院 リハビリテーション技術科

静岡県磐田市大久保 512-3 電話：0538-38-5000

研究責任者：櫻田隆悟